

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	汚染水貯留状態でのボルト締め型タンクの防水処理
御提案者	Bouygues Construction Service Nucleaires (BCSN) (仏)
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>既設のボルト締め型タンクの防水性を向上するために、汚染水が貯留された状態でタンク内部にポリウレタン系樹脂製の薄膜で作成した水密バッグを設置 (バッグインボックス) することを提案します。</p> <p><b>【設置要領】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① タンク蓋板を外す</li> <li>② 水面上に浮いた状態で水密バッグを広げる</li> <li>③ 水密バッグの周囲をタンクの頂部 (歩廊でも良い) に気密となるように固定する</li> <li>④ 水密バッグの中央部プラグを開け、水密バッグをタンク底部へ沈める</li> <li>⑤ 中央部プラグを閉止し、水中硬化型シリコン系特殊樹脂をタンク上部からホースで注入し固める</li> <li>⑥ 水密バッグとタンクの間の水を水中ポンプによりくみ出し、水密バッグ内部へ移す。これにより水密バッグはタンク内部に密着し、汚染水はバッグインボックス型の水密バッグ内部に貯留される</li> <li>⑦ タンク蓋板を設置する</li> </ol>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 同様なコンセプトの実施例有り。</li> <li>・ 開発・実用化に向けた課題・留意点 中央部プラグの開閉機構等を検討する必要があるが、困難では無い。</li> <li>・ その他 (特許等を保有している場合の参照情報等)</li> </ul>	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)